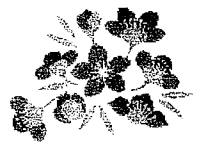


第7号
野洲市手をつなぐ育成会
発行者
三河 聡
印刷所
っこり作業所
TEL588-0503



一年をふりかえって

会長 三河 聡

東日本大震災から一年、日本を震撼させた未曾有のことが、昨日の出来事のように脳裏によみがえります。被災された皆さまには、少しでもこの傷が癒され、日々の生活が今後の復興により、一日も早く取戻されまじやう、心からお祈り申し上げます。

さて、早いもので二十三年度の育成会活動も一年を終えようとしています。昨年度野洲市で開催された福祉振興大会も、今年度は栗東市で開催され、野洲市手をつなぐ育成会としても、多くの会員が参加し、有意義で実りあるものとする事ができました。

例年おこなっているバザーや、福祉交流事業への参加、研修会など会員の皆さまには積極的に参加いただき充実した活動ができたのではと考えております。平成十八年、障害者自立支援法が全

面施行されましたが、利用者の負担に定率負担導入、事業者に対する報酬制度変更等、不満・不備は払拭されず、個々のニーズに基づいた地域生活支援体系の整備等を内容とする新制度が平成二十五年八月を目途に「仮称」障害者総合福祉法」が制定予定されています。

当会においても野洲市障がい福祉計画策定委員会、各種関連機関との連携会議に活動の一環として積極的に参加し、当事者団体として住みよい地域社会の実現に向け取り組んでいます。

後述となりますが、一年をふりかえり、野洲市において、よりよい福祉社会に向けた取り組みが行政、各関連機関、当事者団体が連携し、積極的にこなされていることこそ強く思います。

またこの一年、不慣れた活動運営にご指導・ご鞭撻賜りました、役員並びに評議員、会員の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

見せている姿が全く違うお子さんがいます。学校で無理に思えるほどまでがばりすぎ、家庭で混乱して家庭内暴力にまで起こし、親が困り果て、やっとならで学校の先生に相談に行つたのに「大丈夫ですよ、学校ではお子さんががんばつておられますよ、しばらく様子を見られたらどうですか」と何か家庭に原因があるのかのように言われ、「今困っていることわかつてよ」と苦慮されている多くの親ごさんにお会いしています。

特別支援教育が始まって六年目を迎えます。県内を見渡しますと、市町でかなりの温度差があるように思います。野洲市では「特別支援教育推進協議会」で育成会をはじめ、いくつもの親の会の意

卒業おめでとう

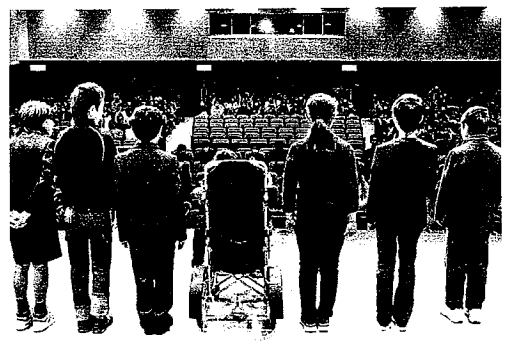
副会長 井上智子

市内の小中学校の特別支援学級および野洲養護学校の小中学部で卒業を迎えられる二十七名のみならず、ご卒業おめでとうございます。二月二十四日に開催された「卒業を祝う会」では参加された卒業生が堂々とメッセージを述べました。また、野洲養護学校高等部の迫力ある「よさこいソーラン」の発表後、三年生が社会への自立をめざす決意を力強く表明しました。ひとむきに歩もうという思いがみんなに伝わり、野洲で共に生きようとする仲間

の絆が、あの卒業を祝う会で深まったと思います。共に歩んでいきまじやう。

見を聞き入れ様々な施策が進められています。例えば、特別支援教育専門の指導主事配置や専門チームの設置、各校への巡回相談員の派遣、特別支援教育コーディネーターに対する授業持ち時間軽減措置や支援員の配置、保育園・幼稚園への巡回相談員の派遣、特に学童保育所への加配措置などは他市町に見られない先進的なものです。野洲市では「保健」「福祉」と「教育」が共に歩み、「医療」ともつながる取り組みが進められています。

「子どもの困り感がわかってももらえ、親の思いを受け止めてもらえない。」ことばではわかっているけれども、実際ではなかなかわかってももらえない現実があります。「子どもそれぞれの保護者に寄り添う」とい



卒業を祝う会

「学習発表会」

手をつなぐ育成会が後援している、野洲市特別支援学級卒業を祝う会・学習発表会が三年ぶりに実施されました。式典では、三〇〇名あまりの人の前で、抱負をしっかりと言いました。学習発表では、小学校の部、野洲養護学校高等部の発表があり、中学生が司会、進行をしました。

うことは誰でも言えます。ことばだけでは決して寄り添うことにはつながりません。自分が「困り感」にいか具体的に共に動けるかが肝心なのです。

今、野洲市「手をつなぐ育成会」は子どもたちの「生きる力」をいかに育み、将来の「自立・社会参加」に向けてどう実践に結びつけるか、現会長を核として具体的に動き出しています。障がいの種別・程度に関係なく、子どもたちの将来に目を向けた取り組みが具現化しています。

「お母さん大丈夫ですよ」から「一緒に動きましょう」への実践へ、みなさん野洲市の「手をつなぐ育成会」に結果まじやう。子どもたちの将来のために！

○発表を見た交流学級児童の日記より
私に心が残ったことは、劇や合奏などをみんな楽しそうにやっていたことです。劇のせりふもはつきり言っていたし、合奏や歌、ダンスもリズムにのりながら笑顔でやっていたことです。私たちがらきん張って笑顔を作れないと思うのです。すごいなと思いつつ見えています。

もう一つ心に残ったのは、できるようになったことの発表です。その中でも印象的だったのは、あやとびを何回もとんでいたことです。たくさん練習したのがすごく伝わってきました。合奏や劇なども精一杯がんばっているのが見ていてわかりました。私は、心の中で精一杯応援しました。



これからの育成会は魅力いっぱい 子どもたちの将来のために「結果」を！

相談役 久郷 悟

昨年度から滋賀県総合教育センターとパーム子どもクリニックで相談活動させていたでいています。発達障がいのお子さんに対する支援の在り方や行き渋り・不登校を見せる子どもたちへのかわり方などの相談をお受けしています。

相談の中には、学校での姿と家庭で

見せている姿が全く違うお子さんがいます。学校で無理に思えるほどまでがばりすぎ、家庭で混乱して家庭内暴力にまで起こし、親が困り果て、やっとならで学校の先生に相談に行つたのに「大丈夫ですよ、学校ではお子さんががんばつておられますよ、しばらく様子を見られたらどうですか」と何か家庭に原因があるのかのように言われ、「今困っていることわかつてよ」と苦慮されている多くの親ごさんにお会いしています。

見を聞き入れ様々な施策が進められています。例えば、特別支援教育専門の指導主事配置や専門チームの設置、各校への巡回相談員の派遣、特別支援教育コーディネーターに対する授業持ち時間軽減措置や支援員の配置、保育園・幼稚園への巡回相談員の派遣、特に学童保育所への加配措置などは他市町に見られない先進的なものです。野洲市では「保健」「福祉」と「教育」が共に歩み、「医療」ともつながる取り組みが進められています。

「子どもの困り感がわかってももらえ、親の思いを受け止めてもらえない。」ことばではわかっているけれども、実際ではなかなかわかってももらえない現実があります。「子どもそれぞれの保護者に寄り添う」とい

多機能な生活拠点プロジェクトについて

三河 聡

子どもたちが安心して地域社会で生活してゆく取組みのひとつとして、ケアホーム、グループホームの整備充足が、野洲市に限らず、現代社会において大きくクローズアップされています。

野洲市においても行政、各関連機関と連携し、定期的に会議が開催され、当会も参画し、今後の方向性を検討協議しています。

施設見学と講演会「ステップ広場ガル」

九月六日、大津市千町にある「ステップ広場ガル」を見学に行きました。

この施設には、重度知的障がいの方を中心に、自閉症・行動障がいなど約50名の方が生活されています。現地では施設の方の生活について話を伺い、保護者の方のお話も伺いました。

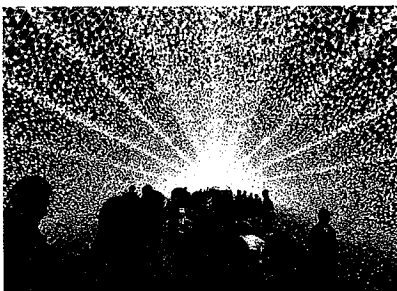
の思い・行動の過程を聞かせていただいたことは、親の会のエネルギーになる大切さを感じました。見学したことを、野洲という地域でどのようにアレンジして発展させていくのか、これからの育成会活動に先輩お母さんたちのお話を思い出しながら参加していきたいなあと思いました。(OB保護者)

大きな事をやり遂げるまでのお話力がこもっていて圧倒されました。(小学生保護者)

その後、保護者のひととして、「仮称」宿泊体験事業検討部会を設置致しました。

その後定期的に部会を開催し、現在有志で宿泊体験をしてもらえる会員を交え、育成会としてその必要性を関係機関と連携協議し、その実現に向け活動します。

参加される会員は、小学生の保護者から、成人されている会員の保護者までたくさんの方がおられます。ご興味のある方は当役員までご連絡ください。



親睦旅行 里のなばな

本年度の余暇支援活動は、十一月九日(水)に、三重県のなばなの里・イルミネーションに行きました。

☆参加者の声から☆

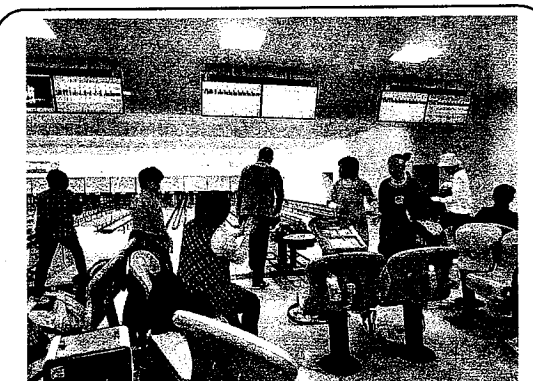
「ほどよい時間でぐるっとまわれ、子ども連れで行くには、ちょうどよかったです。」

「バスの中で会場のレクチャーしてもらったのでありがたかったです。」

「イルミネーションは想像していたよりずっときれいでした。」



会員の方、会員外の方を問わず、「手をつなぐ育成会」のことを知ってもらおうとホームページをUPしました。「野洲市手をつなぐ育成会」で検索すればすぐに見つかります。ぜひご覧ください。



OBボーリング大会

二月十二日、日曜日、栗東ボーリング・ジムにて、余暇事業のボーリング大会が開かれました。参加者三十八名がゲームと昼食で交流のひとときを過ごすことができました。

ゲームが進む中、「ヤッター。」とガッツポーズ。「残念!もう少しだったのに。」と、スコアの点数に一喜一憂する様子。体いっぱい表現は、応援している者までゲームをしている気持ちにさせてくれ、楽しい一日でした。(泉 登美恵)

ホームページUPしました

編集後記

手をつなぐ育成会には多くの方々の温かい賛助をいただいております。多くの皆様方に会の活動の中身を知っていただくとうと広報を編集しました。今後ともよろしくお願いたします。

2011(平成23)年度野洲市手をつなぐ育成会事業報告

月	日	事業内容
5	29	役員会(幹事・評議員会)
5	30	滋賀県手をつなぐ育成会通常総会
6	4	野洲市手をつなぐ育成会総会及び保護者会
6	26	第7回「スポーツ大会」やすりんピック
7	2	第30回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル(長浜ドーム)
7	5	野洲市手をつなぐ育成会ホームページUP
7		物資斡旋
7	16	チャリティバザー開催(アルプラザ野洲)
7	19	野洲市多機能な生活拠点プロジェクト会議

月	日	事業内容
7	29	野洲市福祉交流事業(マイアミランド)
9	6	ステップ広場ガル研修会
10	9	第46回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会(栗東さくらホール)
11	3	にっこり祭り出店
11	9	余暇支援(なばなの里)
12	4	クリスマスの寄せ植え教室(コミセンみかみ)
2	12	OBレクレーション(栗東ボーリングジム)
2	26	役員会(幹事・評議員会)
3	9	広報「きらきら」発行